
目 次

第一部 器械運動指導法 ～実践編～

〈マット〉

1. 「倒立」の指導法 (18号 2010)
 - ・道しるべ指導法の考え方
 - ・倒立とは、かべ倒立の練習法
 - ・倒立の安全な補助法

2. 「側方倒立回転」の指導法 (19号 2011)
 - ・わざの構造と運動課題
 - ・動感感覚の促発課題
 - ・段階的指導法
 - ・発展技への応用

3. 「接転系わざ」の指導法 (20号 2012)
 - ・後転の指導法—肘張り後転で楽しい練習
 - ・倒立前転は伸腕でさばくのが安全指導

4. 「ハンドスプリング」の指導法 (23号 2015)
 - ・前転とび＝ハンドスプリング：表記の問題
 - ・ブリッジ回転からの指導法の問題性
 - ・ホップはハンドスプリングの原動力
 - ・ホップのやさしい指導法
 - ・ジムボールを使った動感づくり
 - ・間違ったブリッジ指導は事故のもと

〈跳び箱〉

5. 跳び箱運動の指導法 (21号 2013)
 - ・よび踏み切りのできない子どもへの対応
 - ・踏み切り板の位置
 - ・切り返し系、回転系わざの指導法
 - ・突き放しのやり方

〈鉄棒〉

6. 鉄棒運動「逆上がり」の指導法 (22号 2014)
 - ・後方支持回転と逆上がりの指導
 - ・高鉄棒の逆上がり
 - ・逆上がりの理想像

第二部 器械運動指導法 ～理論編～

1. 道しるべ学習の指導方式について (19号 2011)
 - ・ 目当て学習からの転換
 - ・ 道しるべ学習方式の展開
 - ・ 動感化指導法と道しるべ学習
2. 技の構造分析を考える (20号 2012)
 - ・ 構造の概念
 - ・ 運動構造の分析可能性
 - ・ 倒立前転の運動構造の分析事例
3. 運動観察学習の意義と課題 (21号 2013)
 - ・ 運動を観るとは
 - ・ 運動のかたちと運動観察能力
 - ・ 自己観察は他者観察の基礎
4. 指導者の指導力を磨く（その1） (22号 2014)
 - ・ 児童生徒の運動欠点をどう把握するか
 - ・ 子どもの動きを見抜く他者観察
 - ・ 子どもの動きに入り込んでみる共感観察
5. 指導者の指導力を磨く（その2） (23号 2015)
 - ・ 交信能力とは
 - ・ 運動感覚の音響的あるいは言語的表現力
 - ・ 交信能力の機能場面
 - ・ 交信能力の有効性

第三部 器械運動に関する実態調査

1. 器械運動の学習目標についての検討 (13号別刷 2005)
 - ・ 小学生高学年児童を対象として調査
 - ・ 運動の楽しさや喜びを味わえるか
 - ・ 運動技能の上達を感じとれるか
 - ・ 得意者と不得意者の反応調査
2. 小学校における器械運動指導に関する教員の意識調査 (15号 2007)
 - ・ 体育指導の得意不得意
 - ・ 指導しやすい点しにくい点
 - ・ 年間指導時数
 - ・ 授業で取り扱った技